

トピックス **ぶらす**

7/21

加茂流館神楽100周年を祝う

中田町宝江新井田館地区に古くから伝わる「加茂流館神楽」が100周年を迎え、21日に宝江館ふれあいセンターで記念祭を開催、約150人が出席しました。館神楽は明治時代、五穀豊穡などを願って地区の青年神楽として行われたのが始まりとされ1970年に館神楽保存会を発足、現在では地元小学校への指導などを行っています。



▲八幡舞で幕を開けた記念祭に多くの人が訪れました

8/1~3

ファームステイで農業の大切さを学ぶ

神奈川大学附属中学校の2年生120人が、8月1日から3日までの3日間、市内30世帯の農家に民泊しながら農作業体験をしました。それぞれの農家では野菜やりんごの収穫、家畜の世話などを体験し、初めて農作業を体験した生徒は、なれない手つきで戸惑いながらも、作業を通して農業の大変さや食糧の大切さを学んでいました。



▲初体験の白菜の種まきにとまどいながら挑戦する生徒

8/8

宅配用食材の加工・配送施設が登米市に

食材宅配サービスの「ヨシケイ宮城」(仙台市泉区)と市は、8月8日に米山町中津山にある市有地の売買契約を締結しました。同社は、県北での事業を拡張するためその拠点となる施設の建設用地として取得。市では新たな雇用が見込まれるほか、食材は市内の農家と契約栽培を進める計画もあり、市の産業振興に結びつくものと期待しています。



▲今後の協力を誓い握手する三上社長(右)と布施市長

8/12

佐沼病院でスポーツ講演会を開催

市立佐沼病院では、市内スポーツ少年団を指導される人を対象に、スポーツの指導中や競技中における熱中症などの予防やけがの処置方法について、佐沼病院外科長兼登米診療所副所長の深谷雄一郎医師を講師に講演会を開催しました。参加者は夏の季節に多発する熱中症の症状やその対処方法などについて熱心に受講していました。



▲熱中症の症状などについて熱心に受講する参加者

子どもに大人気の山車行列

東和でみやぎ北上連邦サマーフェスティバル

東和の夏を彩る一大イベント「みやぎ北上連邦サマーフェスティバル」が、8月15日から2日間にわたり米谷地区を会場に行われました。15日に行われた山車行列では、子どもたちに人気のアニメキャラクターなど趣向を凝らした各町内会自慢の山車が米谷地内を練り歩き、沿道の見物客を楽しませていました。また、翌16日の夜にはメインイベント「米谷の花火」が米谷北上川河川敷で行われ、夜空いっぱいに広がる大輪の尺玉や豪華スターメインが、市内外から訪れた多くの観客を楽しませていました。



▲米谷地内を各町内会自慢の山車が練り歩き見物客を楽しませました

富山県入善町の児童と交流

米山で国内姉妹都市交流事業を開催

市と姉妹都市の関係にある富山県入善町にゅうぜんの小中学生18人が、8月5日から6日までの2日間、米山町を訪れ、町内の小中学校児童と交流をしました。この事業は、昭和初期に入善町の人たちが短台地区に入植していたことから、平成15年に交流が始まったものです。米山丸山太鼓のお出迎えて始まった歓迎セレモニーでは、入善町から特産のジャンボスイカ、海洋深層水が贈られました。翌日は平筒沼ふれあい公園で、米山町内児童が参加している「林間楽校」へ合流し、カヌーやローボートなどを体験しました。



▲初めて体験するドラム缶風呂にちょっと緊張気味な児童たち

ハスの咲く湖上でお茶会

迫の長沼で「納涼茶会」を開催

伊豆沼・長沼では8月に入りハスの花が見頃を迎え、それぞれの会場で「はすまつり」が開催されました。「長沼はすまつり」では、ハスの咲く湖上に浮かぶ特設会場で、8月16日にはハスを眺めながらお茶を楽しむ「納涼茶会」、20日には日本の古典音楽が演奏された「雅楽コンサート」などのイベントが開催されました。祭りの会場には、花を間近に眺めることができる遊覧船が運行され、連日見事なハスの花と涼を求めて里帰りした地元出身者や市外から訪れた家族連れなど、たくさんの観光客でにぎわいました。



▲ハスが一面に咲く湖上に浮かんだ特設会場で、お茶を楽しむ参加者